

取組目標	評価項目・目標数値	実績	考察及び改善策
① 介護・支援を要しない高齢者の増加	75歳～85歳の高齢者のうち、要介護・要支援の認定を受けていない人の割合 平成29(2017)年度:80.8% ↓ 令和 2(2020)年度:82.5%	R2年度 :81.7%	介護・支援を要しない高齢者（対象:75歳以上85歳未満）はR元年度（81.4%）より増加し、おおむね目標に近い実績となった。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行による高齢者の閉じこもりや介護予防普及啓発に関するイベントや出前講座の中止、通いの場の活動自粛などから、高齢者の心身機能の低下が懸念された。このため、広報誌による情報発信やオンラインの活用など、関係機関と連携しながら新しい生活様式に対応した介護予防普及啓発の取組みを行った。 引き続き、コロナの動向を踏まえつつ、継続していくとともに、介護予防ケアマネジメントの強化のための自立促進ケア会議（地域ケア会議）を活用し、個別ケースの検討を通じて自立支援・重度化防止のため、支援内容の充実や関係機関連携、地域づくりの推進を図る。
② 取り組んでいる高齢者から意識的に介護予防に取り組んでいる高齢者の増加	介護予防に日頃から意識的に取り組んでいる高齢者の割合 平成28(2016)年度:31.6% ↓ 令和元(2019)年度:50.0% ↓ 令和4(2023)年度:80.0% (計画策定を行う年度の前年度に行う介護予防・日常生活圏域ニーズ調査による)	R元年度 :57.5%	次回は、令和4年度に行う予定である。 なお、現行の第8期計画の策定前に行った調査（R元年度）では、目標を上回っていた。
③ 介護住民防主体活動への参加促進	(1) 住民運営による通いの場への参加人数 平成28(2016)年度:10,383人 ↓ 令和2(2020)年度:16,000人 (2) 通いの場の箇所数 平成28(2016)年度:532か所 ↓ 令和 2(2020)年度:800か所	(1) R2年度 :19,240人 (2) R2年度 :933か所 ※市の調査に一部未回答の団体あり。	箇所数及び参加人数ともに目標数値に達した。 しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、運営の休止や、外出自粛による利用控え等が生じていることから、引き続き感染対策などの情報提供や、安心・安全に活動が継続できるよう支援を行い、高齢者の閉じこもり予防・健康維持を図る。